

第49回日本皮膚免疫アレルギー学会 総会学術大会を終えて

(2019年11月29・30日, 12月1日, パシフィコ横浜 会議センター)

相原 道子

(横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学教授)

はじめに

第49回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会を2019年11月29日午後から12月1日まで2日と半日, パシフィコ横浜会議センターで開催させていただきました(図1)。本会は2017年に日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会と皮膚脈管・膠原病研究会が統合されてから2回目の学術大会にあたります。幸い全日晴天に恵まれ, 医師, コ・メディカル, 学生を含め約1,200人と多くの方にご参加いただきました。盛会のうちに終了できましたことを, 感謝申し上げます。

テーマと概要

大会のテーマは, 「皮膚免疫・アレルギーの現在と未来」といたしました。ありきたりのフレーズではありますが, 皮膚科における免疫学, アレルギー学の現状と将来の発展性を基礎研究および実臨床の両面で捉え, わくわく感を大切にした3日間を目指しました。そのため, 特別講演やシンポジウムでは基礎研究および臨床の両面で皮膚科以外の分野の研究者や臨床医を多数お招きし, 幅広い視点でご講演いただきました。また, 皮膚科学会総会や支部学術大会とは違って教育講演は「皮膚バリア構造とアレルギーの接点」(山本明美先生)の1つに絞り, 一般演題を活性化させるために一般演題から選ばれたミニシンポジウムを本学会で初めて開催いたしました。ほかにもこれまでにない企画として, スマートフォンを使った参加型ワークショップを薬疹と接触皮膚炎で行い, さらに過去に行われていたポスター賞を優秀演題賞として復活いたしました。

これらの企画の中でもっとも気を配ったのが内容のバランスです(図2)。参加者は学会の成り立ちからも主に興味をもつ分野がそれぞれ異なるため, 皮膚免疫アレルギー疾患のあらゆる分野を網羅し, 将来に向けての最新情報の提供を行うためにどのような内容のプログラムをどのように配置するかに苦慮いたしました。シンポジウムでは基礎研究, 薬剤性皮膚障害, 膠原病, 蕁麻疹・アナフィラキシー, 接触皮膚炎, アトピー性皮膚炎, 感染と免疫アレルギー疾患と合計7つのテーマを企画いたしました(最後の2テーマは共催シンポジウム)。その結果, 2日目に並列してシンポジウムが行われる時間ができてしまいましたが, おおむねご好評をいただきました。



図1 学術大会ポスター

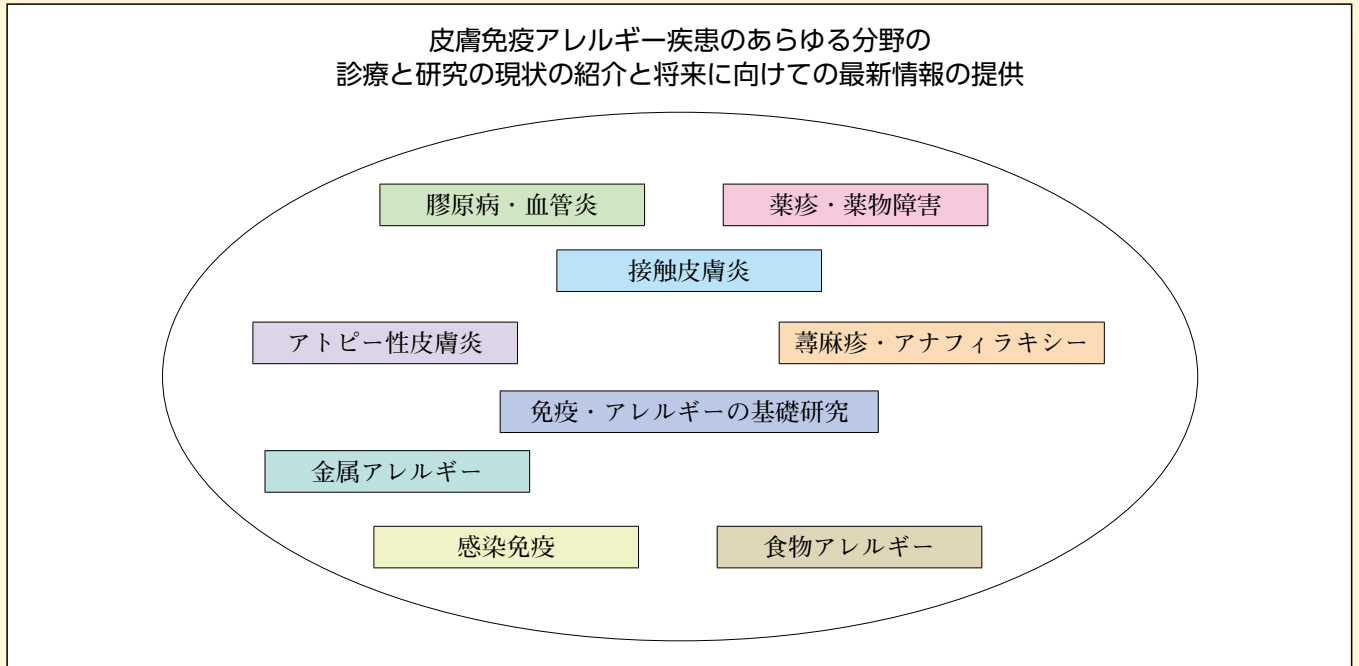


図2 大会コンセプト

特別講演

特別講演は、外国からは3人の先生をお招きしました。Universitätsmedizin Berlin (ベルリン医科大学) (Charité)のMarcus Maurer先生は蕁麻疹研究の第一人者で、蕁麻疹専門機関の国際認証Urticaria Center of Reference and Excellenceの創設者として世界の蕁麻疹診療を牽引されている先生であり、慢性蕁麻疹の病態と最新の治療についてご講演いただきました。台湾のChang Gung Memorial HospitalのWen-Hung Chung先生は重症薬疹の発症に関する研究では世界でもっとも有名な先生のお一人であり、今回はこれまでの成果に基づく今後の薬疹研究と治療の展望をお話いただきました。膠原病の分野ではSouth Carolina Medical UniversityのCarol A Feghali-Bostwick先生に「Fibrotic and anti-fibrotic mechanisms: lessons learned from skin」と題して複雑な線維化のメカニズムをわかりやすく解説いただきました。国内からは大阪大学免疫学フロンティア研究センターから鈴木一博先生に交感神経と免疫応答の関係につ

いて、神経と免疫細胞のかかわりという視点でご講演いただきました。

なお特別講演ではありませんが、初日のイブニングシンポジウムの「ワクチンと免疫アレルギーの新展開一次世代ウイルス学と次世代アジュバント学」では、東京大学医科学研究所感染・免疫部門の川口寧先生と石井健先生に単純ヘルペスウイルスの宿主免疫回避機構とアジュバント学を中心に、皮膚科ではなかなか聞くことのできない最新の感染免疫学についてご講演をいただき、非常に好評であったことを付け加えます。

おわりに

今回、これまでとは趣の異なるプログラムによる皮膚免疫アレルギー学会学術大会を提案し、皆様のご協力で活気あふれる学術大会が開催できました。本学術大会にご参加いただきましたすべての先生方とご支援いただきました神奈川県皮膚科医会ならびに横浜市皮膚科医会、協賛いただきました企業の皆様に心より御礼申し上げます。